



Future Report 2021

2021.01.01 - 2021.12.31

フューチャー株式会社 TSE 1ST SECTION:4722



ごあいさつ

先進的なテクノロジーによってお客様のDXを推進し 未来に新たな価値を創造する

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

フューチャーは、経営戦略とIT戦略の両輪で考えるという理念のもと、多種多様な業種・業界のお客様の未来価値を最大化させることをミッションに事業を展開しています。戦略的ITをお客様に提供する「ITコンサルティング&サービス事業」と、培ってきたノウハウをグループ内でマーケティング、スポーツ、教育、Eコマースなどアントレプレナーシップで実践する「ビジネスイノベーション事業」の2WAY戦略によってシナジー効果を創出し、グループ全体の事業拡大と未来価値の向上を図っています。

コロナ禍のもと、技術革新や価値観の多様化はかつてないスピードで進み、ビジネスの産業構造は大きく変化しています。顕在化した様々な課題を解決し新しいビジネスを創出するには、先進的なテクノロジーの活用と分野を超えた連携が必要です。

ビジネスの根幹にITが不可欠な今、フューチャーはあらゆる事象から発生するデータをもとに、微細な変化も可視化するリアルタイムアーキテクチャによって、企業や社会のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進しています。これからも真の改革を支援するとともに、お客様のビジネスや社会の発展に貢献してまいります。

2022年3月



フューチャー株式会社
代表取締役会長 兼 社長 グループCEO

金丸恭文

当グループの現状及び今後の戦略について

2021年12月期の事業概況

2021年12月期のハイライト

01

連結売上高は
前期比9.9%増の
486億円

02

連結営業利益は
前期比71.9%増の
90億円

2021年12月期の連結業績は、売上高48,698百万円(前期比9.9%増)、営業利益9,000百万円(同71.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,369百万円(同67.8%増)となり、いずれも過去最高を更新しました。

当期は、多種多様な企業で経営改革の動きが加速し、業務改革や新たなデジタルサービスへの取組みが活発化しました。

ITコンサルティング&サービス事業は、DX案件の受注やプロジェクトの順調な進行に加え、徹底した品質管理及び適正な価値訴求により、売上高・営業利益ともに大幅に増加しました。

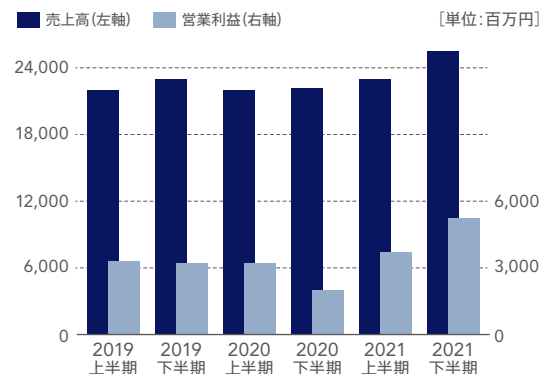
ビジネスイノベーション事業は、各種オンラインサービスを中心に伸長したものの、将来の成長に向けた投資など一時的な費用の発生により、増収・減益となりました。

株主還元策

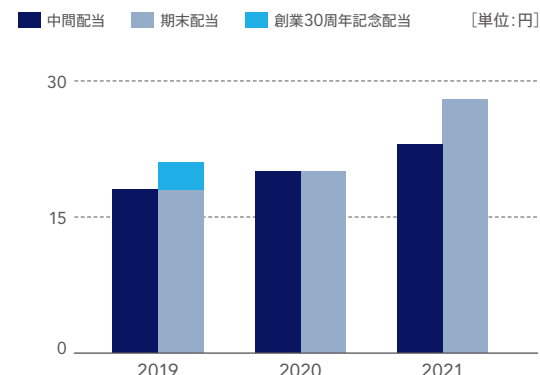
株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置づけ、持続的な成長を図るための内部留保資金を確保しつつ、期間損益、キャッシュ・フローの状況、自己株式の買付状況等を総合的に勘案して、連結の配当性向35%以上を目安に株主還元を実施しています。

この方針に基づき、2021年12月期の期末配当金については、当初予定の1株当たり23円から5円増配の28円、年間配当金は51円といたしました。また、次期の配当金は1株当たり年間30円(うち中間配当15円)を予定しています。なお、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、次期の配当金額は当該株式分割後の金額となっています。

[連結] 半期別業績推移



1株当たり配当金



経営改革に取り組むお客様からの受注が堅調に推移

ITコンサルティング&サービス事業は、長期にわたりIT戦略パートナーとして支援している既存のお客様からのシステム投資案件の受注に加え、DX推進に意欲的な新規のお客様からの受注も増加しました。

地域金融機関のお客様には、従来から展開している営業・融資支援システム「FutureBANK」に加え、クラウドで勘定系システムを提供する「次世代バンキングシステム」を順調に開発しています。また、エネルギー業界や不動産業界のお客様をはじめ大手企業のお客様からも新たなシステム案件を受注しました。さらに、AIやIoTなどのテクノロジーを活用した新ビジネスや新サービスをお客様とともに創出する案件も拡大しています。

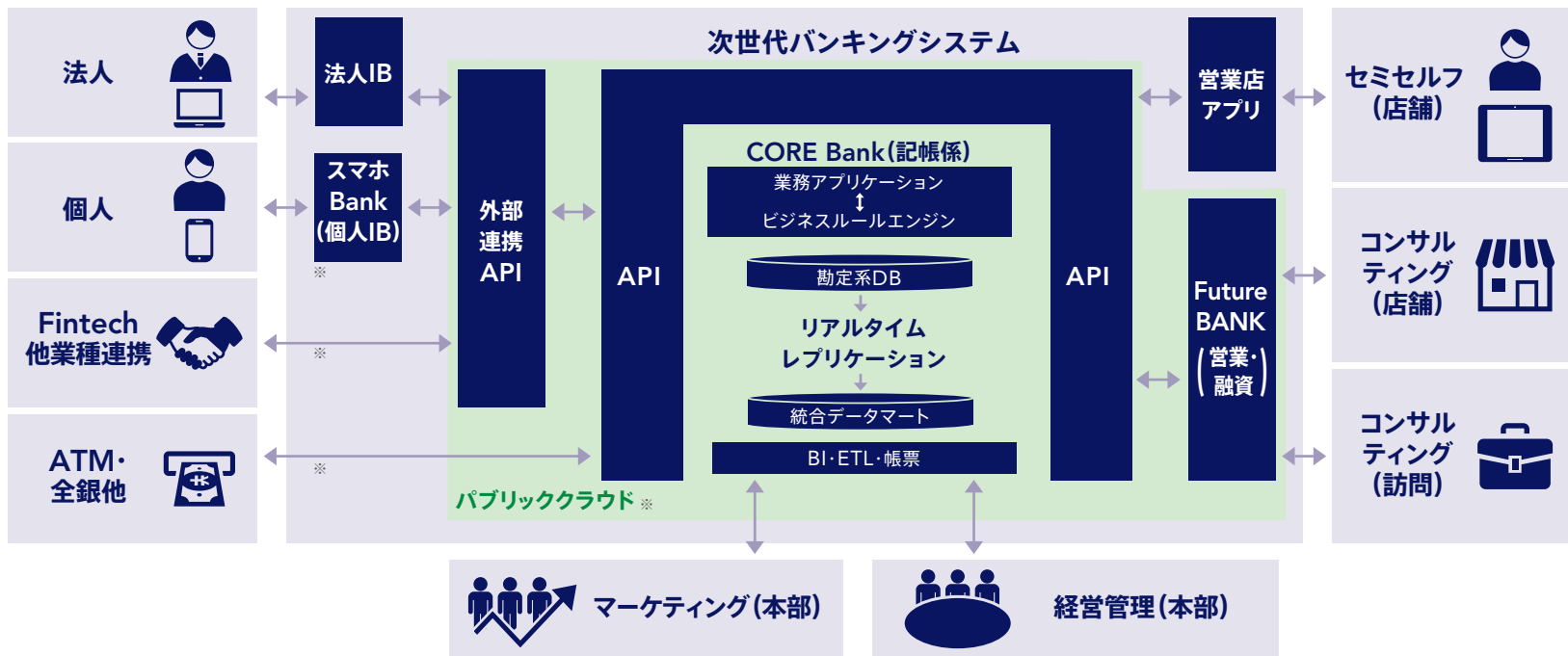
ITコンサルティング&サービス



次世代バンキングシステムを福島銀行様に導入、DX推進と地域創生を支援

フューチャーアーキテクトは、福島銀行様のIT戦略パートナーとして、2024年の本稼働に向けてSBIホールディングス様が提供する金融クラウド上に「次世代バンキングシステム」の開発を進めています。従来の営業・融資支援システム「FutureBANK」に加え、最新技術を用いてゼロベースで最適を追求したクラウド型勘定系基幹システムを導入することにより、ビジネスの変化に柔軟に対応できるようになるだけでなく、業務のさらなる効率化やバンキングサービスのAPI化によるFintech企業等との連携が可能になります。全国で30以上の地域金融機関の業務改革を支援してきた実績とノウハウがあるフューチャーアーキテクトは、今後も地域金融機関とその取引先企業も含めた地域全体のDX推進を支援していきます。

■次世代バンキングシステム イメージ図



※本プロジェクトでは「スマホBank(個人IB)」「Fintech連携API」「ATM・全銀等の対外接続系」「パブリッククラウド」はSBIホールディングス様の提供です。

基幹システムのフルクラウド化で、新たな経営課題の解決に貢献

コロナ禍を契機にニューノーマルへの柔軟かつスピーディな対応が多くの企業に求められる中、複雑なシステム構造が変革の足かせとなるケースが増加しています。フューチャーアーキテクトは、10年以上にわたってIT戦略パートナーとして支援している全日本食品様とオルビス様の基幹システムを、科学的な手法を用いて短期間でクラウド上に全面移行しました。最新技術の適用といまのニーズに合わせた機能への統廃合によって、新しい施策に柔軟かつスピーディに対応できるようになり、運用コストを大幅に削減するとともに、クラウド化によりCO₂排出量削減にも貢献しています。

全日本食品様



年間40%以上の運用コストを削減※1
より戦略投資しやすい経営環境にシフト

基幹システム「HEARTONE」を含め全システムを、2021年7月にクラウド化。
ニューノーマルへの迅速な対応を可能とするシステム基盤を獲得

全日本食品様は、基幹システムのフルクラウド化によって年間の運用コストを40%以上削減し、戦略的な分野への投資余力を生み出しています。これにより、本部が全国の加盟店のDX推進を主導し、ビジネス環境の変化に対応した新しい施策をスピーディに実行できるようになりました。

オルビス様

ORBIS

受注系ロジックの27%を削減※2
時代のニーズにマッチする施策を可能に

基幹システム「FORCE」を含め全システムを、2022年1月にクラウド化。
定期購入、決済手段追加など新サービスの柔軟な対応

オルビス様は、これまでの通販メインの化粧品会社から、通販と実店舗の両方でより高い付加価値を提供する総合的な化粧品会社への転換を図っています。ネット販売のコア機能である受注機能の大幅な見直しと全システムのクラウド化により、新サービスへの柔軟な対応を可能にしました。

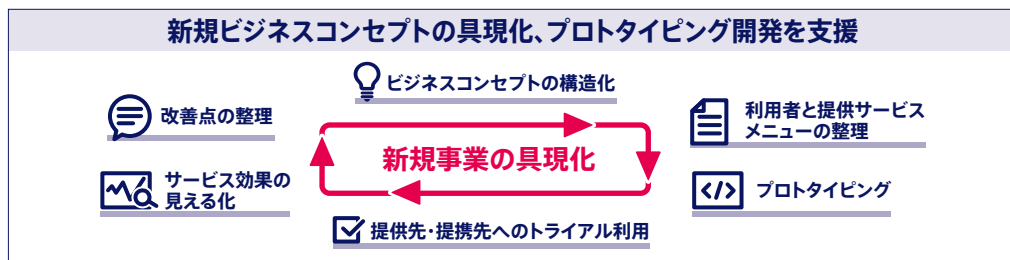
※1 当社試算による ※2 2021年2月末のリリース時点での実績値

お客様に伴走して新規事業創出やDX人材育成を支援

お客様とともにテクノロジーを活用して新たなビジネスやサービスを創出する「共創型新規ビジネス創出コンサルティング」の案件が拡大しています。大きな特長は、新規ビジネスのコンセプトを構築しつつ、その具現化に向けて早い段階からプロトタイピングを実装し、トライアルを続けながら検証していくことです。またお客様自身が新規事業を企画するだけでなく、そのシステムも開発できるように、DX人材の育成も支援しています。



三井不動産様 新規事業サービス検証

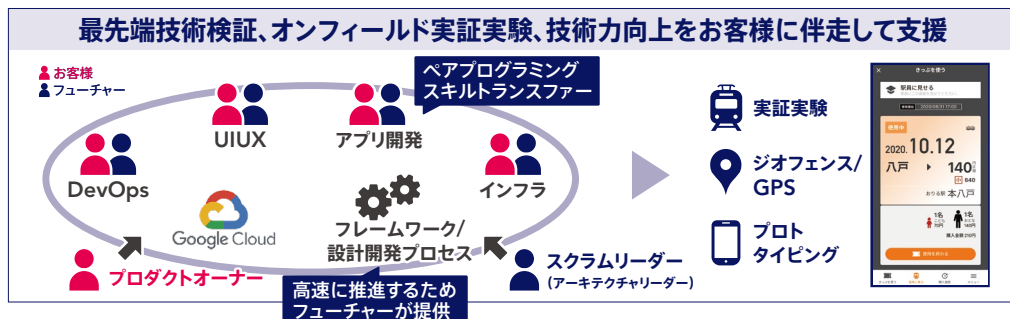


三井不動産様のプロジェクトには構想段階から参画し、新ビジネスの企画立案や計画策定をはじめ、業務提携や展開計画についてお客様とともに検討しています。同時に、サービスを具現化するためのプロトタイピング開発と検証を行い、本格的な展開を目指して取り組んでいます。



株式会社 JR東日本情報システム

JR東日本情報システム様 プロダクト企画・実証実験



JR東日本情報システム様のプロジェクトでは、利用者と駅の位置情報を自動的に取得しスマホアプリで切符の購入や電車の乗降ができる新サービスの創出に向けて、プロトタイピング開発と実証実験を行っています。加えて、お客様がアプリケーションを自社で開発できるように技術移管を行いDX人材育成に貢献しています。

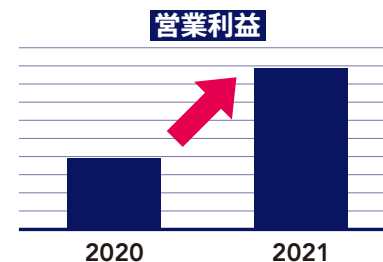
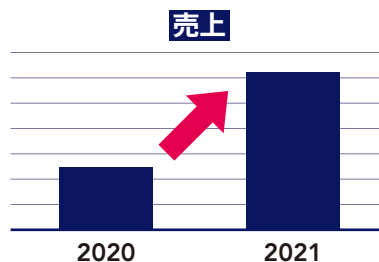
ITコンサルティング & サービス

東京カレンダー | 売上・利益ともに大きく成長

コロナ禍において外食機会が減少する中、東京カレンダーは「本当に求められるニーズ」をデータ分析することで雑誌の売上を伸ばし、実売部数は過去最高（前期比125%）を記録しました。また、「東カレデート」などのネットサービスの伸長や、東京カレンダーのブランドを活用した法人向けのプロモーション企画が評価され、広告が増加し、売上・利益ともに大きく成長しました。



昨年同期比で、売上は117%、利益は227%と、大きく成長



CodeCamp | 将来の成長に向けた投資を優先

コードキャンプは、DX人材の育成ニーズに応えるため、前期比で2倍強の先行投資を行い、法人向け・個人向け（社会人・キッズ）ともに学習カリキュラムの拡充を図りました。コロナ禍で企業における教育のオンライン化が進んでいることも追い風になり、法人向けDX研修など大型案件の受注が増えました。



ニーズの多いスキルを中心に
前期比で2倍強の
学習カリキュラム開発に先行投資



特集

働き方の多様化を推進

時間の使い方や働く場所を自ら選択し、理想とするキャリアを形成

フューチャーでは、すべての従業員が働きやすく、個々の能力を十分に発揮できる環境づくりを推進しています。その取組みの一つとして、全国各地で働くことを可能にする「ロケーションフリー制度」を導入し、自らが思い描くキャリアを形成できるようにしています。リモートワークで場所を問わず働けるほか、時間ではなく成果を評価基準とするセルフコントロール制で働く時間を自分で調整できるため、男女ともに高い育児休業取得率を誇ります。

新卒・キャリアを問わず 多様な人材が活躍

フューチャーは、ライフスタイル、文化・価値観、人種・国籍、ジェンダー、障がいなどの多様性を積極的に受け入れ、尊重し、一人ひとりが個性を活かしてフレキシブルに活躍できる組織・環境づくりを推進しています。

新卒・キャリア社員の構成比率は50:50で、様々なバックグラウンドや専門性、考え方を持つ人材が集まっています。一人ひとりがプロフェッショナルに徹し、互いに多様性を認め合いながら違いを取り込んでいくことで、新たな価値を創造しています。

■ 新卒・キャリア問わず活躍



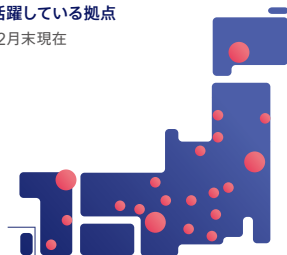
リモートワーク率は最大で90%超 場所を問わない働き方

テレビ会議やチャットツール等を活用し、全社員がリモートワークできる環境を先駆けて整備してきました。コロナ禍においても最大90%超のリモートワーク率を実現しつつ、2021年12月期の連結業績では過去最高益を達成しました。

また「ロケーションフリー制度」の活用により、結婚や育児、介護などライフステージの変化で働き方を見直したい場合には、自らの意志で働く場所を選択できます。実際にこの制度を活用して各地に移住した社員が複数いるほか、全国でキャリア採用を積極的に展開しており、地域による条件の格差なく優秀な人材の獲得に努めています。

■ ロケーションフリーな働き方

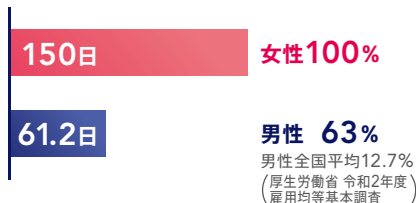
- 社員が活躍している拠点
- ※2021年12月末現在



成果を評価基準にした フレキシブルな働き方

社員の95%以上が、時間ではなく成果を評価基準とする「セルフコントロール制」で働いています。2020年5月からは、個々の事情にあわせて自己の成果を80%や60%などに調整することで、成果と報酬の割合を選択できる「成果比率型裁量労働制」という独自の制度も新たに導入し、よりフレキシブルで多様な働き方ができるようになりました。こうした場所や時間に縛られない柔軟な働き方が選べることもあり、年間の育児休業取得率と取得日数の平均は、女性で100%・150日、男性で63%・61.2日を誇ります※。

■ 育児休業取得率と平均日数



※2020年4月～2021年3月末までの平均を算出

フューチャーの業績・財務状況

▶ 連結貸借対照表 ー決算のポイントー

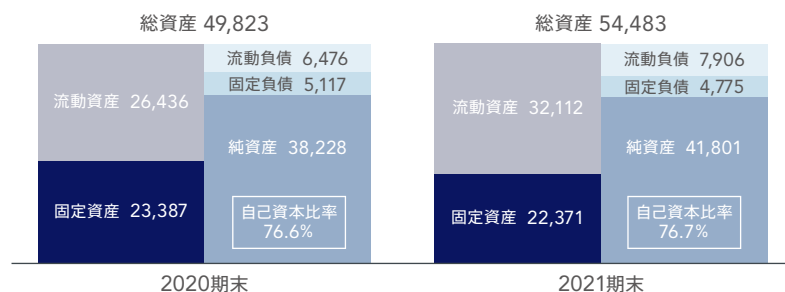
- ▶ 総資産は、現金及び預金、短期の有価証券の増加等により、前期末比4,660百万円増加
- ▶ 負債は、税金等調整前当期純利益の大幅な増加による未払法人税等の増加等により、前期末比1,087百万円増加
- ▶ 純資産は、利益剰余金の増加等により、前期末比3,572百万円増加

[単位:百万円]

	前連結会計年度末 2020年12月31日現在	当連結会計年度末 2021年12月31日現在
流動資産	26,436	32,112
固定資産	23,387	22,371
流動負債	6,476	7,906
固定負債	5,117	4,775
純資産	38,228	41,801
総資産	49,823	54,483

総資産の推移

[単位:百万円]



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。

▶ 連結損益計算書 ー決算のポイントー

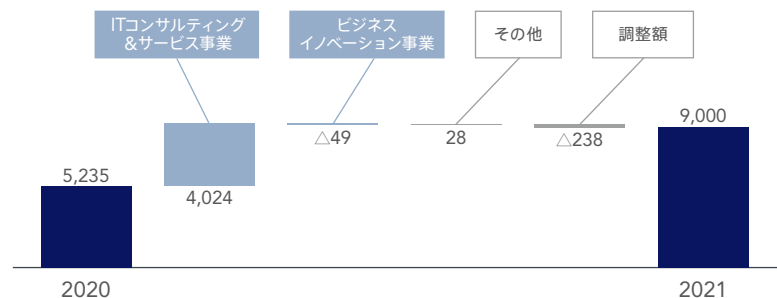
- ▶ ITコンサルティング&サービス事業において売上高・営業利益が増加したことにより、全体の売上高・営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益は増加

[単位:百万円]

	前連結会計年度 自2020年 1月 1日 至2020年12月31日	当連結会計年度 自2021年 1月 1日 至2021年12月31日
売上高	44,311	48,698
売上総利益	18,065	22,553
販売費及び一般管理費	12,830	13,553
営業利益	5,235	9,000
経常利益	5,438	9,289
親会社株主に帰属する当期純利益	3,795	6,369

営業利益の増減要因

[単位:百万円]



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 —決算のポイント—

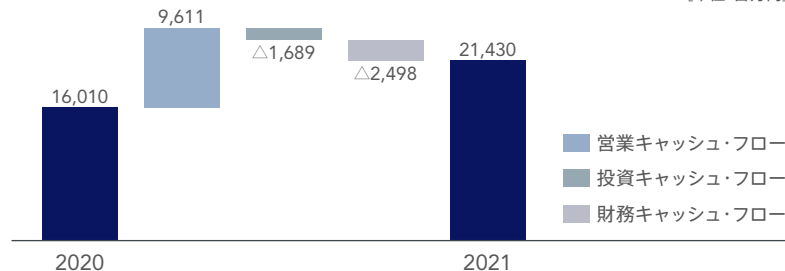
- ▶ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上等により、9,611百万円の収入
- ▶ 投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出等により、1,689百万円の支出

[単位:百万円]

	前連結会計年度 自2020年 1月 1日 至2020年12月31日	当連結会計年度 自2021年 1月 1日 至2021年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,452	9,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△666	△1,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,708	△2,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△3
現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	1,080	5,419
現金及び現金同等物の期首残高	14,929	16,010
現金及び現金同等物の期末残高	16,010	21,430

キャッシュ・フローの推移

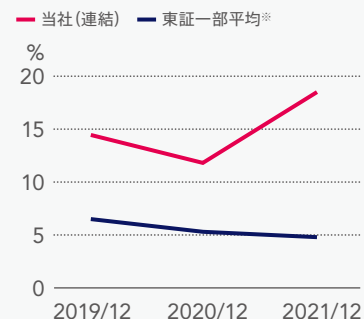
[単位:百万円]



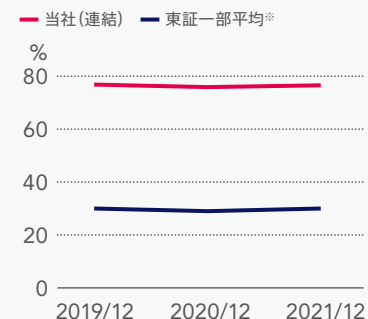
※現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しています。それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

▶ フューチャーの投資指標

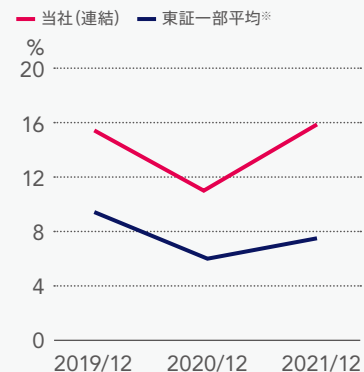
売上高営業利益率



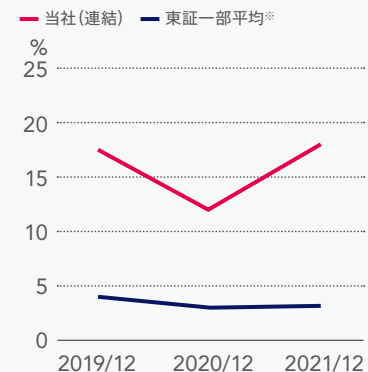
自己資本比率



自己資本当期純利益率(ROE)



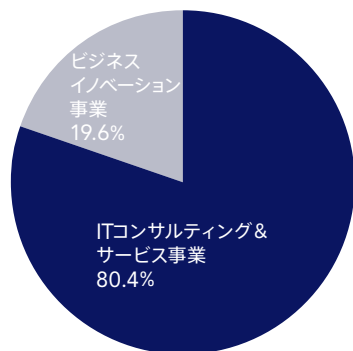
総資産経常利益率(ROA)



※ 2019年3月期、2020年3月期、2021年3月期決算短信(非連結を含む)を発表した東証一部上場会社のうち、変則決算会社・各期における新規上場会社・金融業に係る集計対象会社を除いた会社の平均値。
(出典:東京証券取引所統計資料)

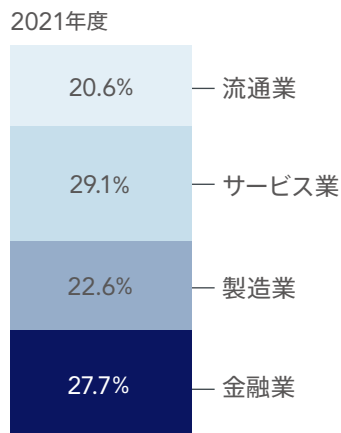
フューチャーのセグメント別業績・戦略

▶ セグメント別売上高構成比 2021年度

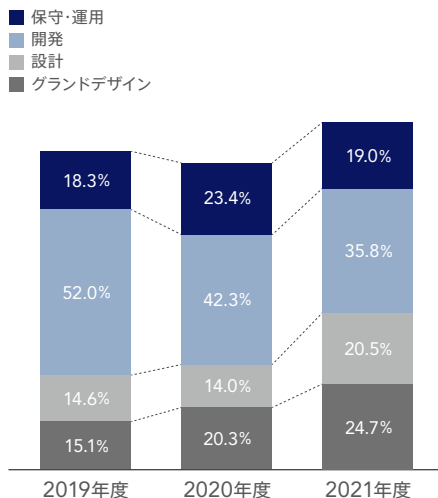


注)セグメント間調整前の数値です。

ITコンサルティング&サービス事業における業種別売上高構成比



ITコンサルティング&サービス事業におけるフェーズ別売上高構成比推移



※1 フューチャー、フューチャーアーキテクト、フューチャーインスペース、ワイ・ディ・シーを合算しています。
 ※2 調達品及びその保守は含んでおりません。

▶ 2021 レビュー

ITコンサルティング&サービス事業

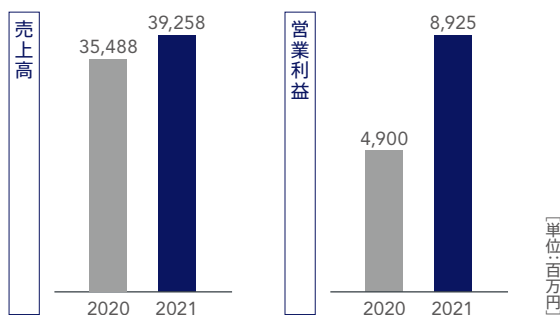
- ▶フューチャーアーキテクトは、多種多様なお客様からの案件の受注に加え、地域金融機関向け「次世代バンキングシステム」開発プロジェクトなどの中長期的な成長に資するプロジェクトが順調に進行したことから増収・増益となりました。
- ▶FutureOneは、オリジナルの中小企業向けパッケージソフトウェア「InfiniOne」のカスタマイズ最適化などにより増収・増益となりました。
- ▶ワイ・ディ・シーは、物流分野における独自のノウハウにより顧客層の拡大に努めましたが、SI案件の減少により減収・減益となりました。
- ▶ディアイティは、サイバーセキュリティ関連の受注やICT環境整備のためのネットワーク関連の受注が好調に推移し、増収・増益となりました。

ビジネスイノベーション事業

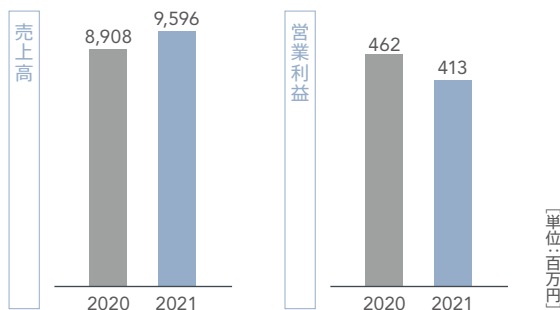
- ▶eSPORTSは、プライベートブランド「QUICKCAMP」を中心に売上が伸長した一方、基幹システムなど将来の成長に向けた投資を優先したことにより減収・減益となりました。
- ▶東京カレンダーは、「東カレデート」などのネットサービスが安定的に推移したほか、雑誌販売や広告売上が伸長し、増収・増益となりました。
- ▶コードキャンプは、法人のオンライン研修需要を取り込んだものの、個人向けの研修に複数の競合他社が新たに参入したことから、減収・減益となりました。
- ▶ライブリッツは、スポーツ関連のデータ・映像の解析・管理サービスにより新規顧客の獲得に成功したものの、既存顧客の売上が減少し、売上高・営業利益ともに前年並みでした。

2021 実績

ITコンサルティング&サービス事業



ビジネスイノベーション事業



今後の見通し

ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクトは、多種多様なお客様の基幹システム刷新プロジェクトを確実に推進するとともに、DX投資への意欲が高い企業からの新規受注の獲得に努めます。また、地域金融機関向け「次世代バンキングシステム」による業界全体の長年にわたる課題の解決や、デジタル活用による企業戦略の高度化支援など、中長期的な成長につながる取組みを強化します。

ワイ・ディ・シーは、製造業におけるDX需要の拡大に対応すべく、AIを活用した品質管理システムや開発設計における業務コンサルティングなど、サービス領域の拡大を図ります。

FutureOneは、オリジナルのパッケージソフトウェア「InfiniOne」の販売チャネル強化により受注の拡大を図るとともに、品質管理体制を強化し安定的な利益の確保を図ります。

ディアイティは、サイバーセキュリティ関連の顧客ニーズに応えるため、従来のサービスに加えてセキュリティのコンサルティングと教育関連のビジネスを強化します。

ビジネスイノベーション事業

eSPORTSは、2022年3月に商号を株式会社YOCABITOに変更し、「余暇」をキーワードに厳選した商品やサービスを提供します。これに伴い岐阜市に旗艦店「YOCABITO-outdoor things」をオープンするとともに、ECサイトの基幹システム刷新を行い、実店舗とECの相乗効果でさらなる成長を目指します。

東京カレンダーは、ブランド力やイメージを活かした企業向けプロモーションによる広告の売上拡大に努めるとともに、デジタルを活用した有料コンテンツの販売を促進します。また、メディアと一体化したデジタルプラットフォームを新たに立ち上げ、ネットサービスの強化を図ります。

コードキャンプは、ニーズの高い法人顧客向けのセミオーダー研修の積極展開と効率化を進めるとともに、ITエンジニア・Webデザイナーを目指す個人向けのカリキュラムを拡充し、より多くの顧客の獲得を目指します。

ライブリッツは、エンターテインメントや地域コミュニティ領域に、会員管理・ECパッケージ「FastBiz」を展開するとともに、ファンサービスプラットフォームを新たに立ち上げ、スポーツ、エンターテインメント領域のファンサービスを多面的に展開していきます。

会社概要(2021年12月31日現在)

会社名	フューチャー株式会社
英文社名	Future Corporation
設立	1989年11月28日
資本金	40億円
従業員数	2,450名(連結)

役員(2022年3月23日現在)

代表取締役会長 兼 社長	金丸 恭文
取締役副社長	石橋 国人
取締役	神宮 由紀
取締役CTO	齋藤 洋平
取締役	山岡 浩巳
取締役	鈴木 薫
取締役(常勤監査等委員)	市原 令之
取締役(監査等委員)	川本 明
取締役(監査等委員)	榊原 美紀
取締役(監査等委員)	西浦 由希子

主要な連結子会社の状況(2021年12月31日現在)

- フューチャーアーキテクト株式会社
- フューチャーインスペース株式会社
- 株式会社ワイ・ディ・シー
- FutureOne株式会社
- 株式会社マイクロ・シー・エー・デー
- 株式会社ディアイティ
- イノベーション・ラボラトリ株式会社
- 株式会社eSPORTS
- 東京カレンダー株式会社
- コードキャンプ株式会社
- ライブリッツ株式会社
- フューチャーインベストメント株式会社

他7社

主な事業所(2021年12月31日現在)

本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー TEL : 03-5740-5721 FAX : 03-5740-5820
名古屋オフィス	愛知県名古屋市中区
大阪オフィス	大阪府大阪市中央区
福岡オフィス	福岡県福岡市博多区
鹿児島オフィス	鹿児島県鹿児島市

株式の状況 (2021年12月31日現在)

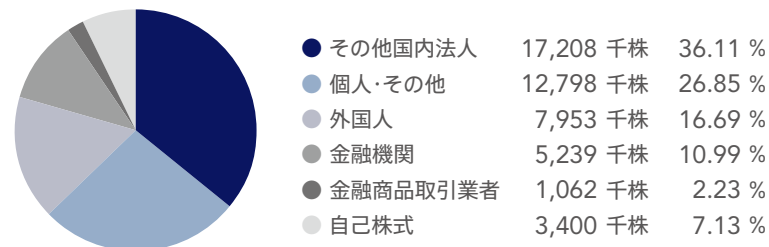
発行可能株式総数 189,376,000株
 発行済株式の総数 47,664,000株
 株主数 6,052名

大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
合同会社キーウェスト・ネットワーク	15,093	34.0
金丸 恭文	5,558	12.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,778	6.2
SGホールディングス株式会社	2,000	4.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	1,225	2.7
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	905	2.0
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口9)	671	1.5
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	625	1.4
石橋 国人	618	1.3
モリヤマ ヒロシ	582	1.3

※1 当社は、自己株式を3,400千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
 ※2 持株比率は自己株式(3,400千株)を控除して計算しています。

株式の所有者別状況



ご注意

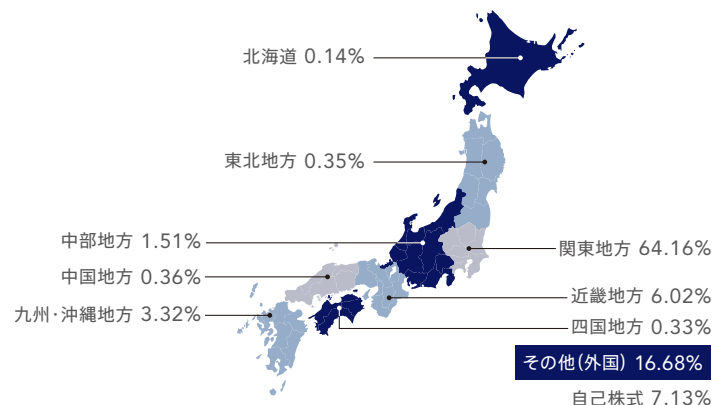
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主メモ

決算期 12月31日 期末配当基準日 12月31日
 定時株主総会 3月 中間配当基準日 6月30日

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 (連絡先・照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル:0120-782-031
 ホームページ:
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 公告掲載URL https://www.future.co.jp/investor_relations/notice/
 ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に公告いたします。

株式の所在地別状況



注意事項

本レポートには、現時点における情報に基づいた将来にかかわる予測が含まれております。それらは今後の日本経済やITサービス業界の動向などにより、変動する可能性がございます。従って、当社がその確実性を保証または約束するものではないことも予めご承知おきください。

Future Report 2021

フューチャー株式会社

本社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2

<https://www.future.co.jp>

表紙写真: ジークスター東京

「ジークスター東京」は、フューチャーグループのジークスタースポーツエンターテインメント株式会社が運営・マネジメントする日本ハンドボールリーグ所属チームです。